








1 Cisco IP Phone 7902G での Cisco CallManager Express 3.2

ボタン一覧



	各部の名称	機能
1	Cisco IP Phone のモデル タイプ	ご使用の Cisco IP Phone の型番を示します。
2	紙ラベルとプラスチック カバー	ご使用の電話番号を記入します。
3	機能ボタン リダイヤル  転送  会議  メッセージ 	リダイヤル、転送、会議、およびメッセージの各機能を利用できます。

	各部の名称	機能
4	音量ボタン 	受話器の音量、およびオンフックでの呼び出し音の音量を調節します。
5	保留ボタン 	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。
6	メニュー ボタン 	未使用。
7	キーパッド	従来の電話機のキーパッドと同じように機能します。
8	受話器（メッセージ受信ランプ付き）	従来の受話器と同じように機能します。受話器のランプは、呼び出し音が鳴ると点滅します。また、新しいボイスメールメッセージが着信すると、ランプが点灯したままになります（機能はメッセージシステムによって異なります）。

Cisco IP Phone の操作

電話の発信

電話をかけるには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を取り上げた後に番号をダイヤルする。
- 受話器を取り上げた後に **リダイヤル** ボタンを押す。

通話への応答

- 受話器を取り上げます。

通話の終了

- 受話器を置きます。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした番号をリダイヤルするには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げます。
2. **リダイヤル** ボタンを押します。

通話の保留

通話を保留にするには

- **保留** ボタンを押します。

保留中の通話を再開するには

- **保留** ボタンを押します。

コール ウェイティングの管理

通話中に別の電話が着信した場合、ご使用の電話の設定によって、コール ウェイティング トーンが鳴るか、または、受話器受けのメッセージ受信ランプが点滅します。

新着の電話に応答するには

- **保留**ボタンを押します。通話中の電話が保留になります。

保留になった電話に復帰するには

- 再度、**保留**ボタンを押します。

その後も**保留**ボタンを押すと、通話と保留が切り替わります。

ボイスメール メッセージの取得

メッセージ ボタンを押して、音声の指示に従います。



(注)

受話器のランプは、呼び出し音が鳴ると点滅します。また、新しいボイスメール メッセージが着信すると、ランプが点灯したままになります (機能はメッセージシステムによって異なります)。

Cisco IP Phone の設定と調節

現在の通話音量の調節

- 通話中に、**音量**ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押します。

呼び出し音の音量の調節

- 受話器を置いた状態で、**音量**ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押します。

Cisco CallManager Express 3.2 機能の使用法

通話の転送

選択した通話を別の番号に転送するには、次のいずれかの方法に従います。

- **ブラインド転送**：転送受信者 (通話の転送先となる人) と会話することなく即座に通話をリダイレクトします。
- **打診転送**：最初に転送受信者と会話した後に通話をリダイレクトします。

通話を転送するには、次の手順に従います。

1. 通話中に、**転送**ボタンを押します。通話が保留になります。
2. 通話の転送先の番号をダイヤルします。
3. **ブラインド転送**を実行するには
 - 回線の呼び出し音が聞こえた時点で、受話器を置くか、または、**転送**ボタンを押します。**打診転送**を実行するには
 - 通話が応答されるのを待って、転送受信者と会話します。その後で**転送**ボタンを押すか、または、受話器を置きます。
 - **打診転送**をキャンセルして元の発信者に再接続するには、**保留**ボタンを押します。

すべての通話の自動転送

すべての着信コールを別の番号に自動転送するには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げ、**1 を押します。
確認のために、短いビープ音が鳴ります。
2. 通話の自動転送先の電話番号をダイヤルします。対象の番号に通話している場合でも、そこに自動転送するためにはその番号をダイヤルします。ダイヤルする際には、市内局番も含める必要があります。
3. 受話器を置きます。

自動転送をキャンセルするには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げ、**2 を押します。
自動転送が無効になったことを示す短いビープ音が鳴ります。
2. 受話器を置きます。

電話会議の使用

3 方向の電話会議を行うには、次の手順に従います。

1. 通話中に、**会議** ボタンを押して新しい回線を開始し、最初の通話相手を保留にします。
2. 別の番号に電話をかけます。
3. 接続したら、再度**会議** ボタンを押して、最初の通話相手との既存の通話に新しい通話相手を加えます。

Cisco IP Phone で、2 番目の通話相手と 3 番目の通話相手（一方がアクティブ状態で、もう一方が保留状態）の間で電話会議を行うには

- Cisco IP Phone で**会議** ボタンを押します。

電話会議の終了

- 電話会議を終了するには、受話器を置きます。



(注) 電話会議の開始者が接続解除すると、電話会議は終了します。

電話会議を終了するためのその他の方法

電話会議の開始者は、次のいずれかの方法を使用できます（機能はシステム設定によって異なります）。

- 電話会議を終了するが最新の通話への接続を保持するには、**会議** ボタンを押します。古い通話が保留になります。
- 電話会議から接続解除するには、受話器を置きます。その他の通話相手は電話会議に接続したままになります。

音声ページングの使用

音声ページングでは、ページングを受信するための1方向の音声パスが利用できます。ボタンを押して応答するというオプションはありません。

グループに対するページング機能を使用するには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げて、利用可能な電話回線を選択します。ダイヤル トーンが聞こえることを確認してください。
2. 指定されたページング グループ番号をダイヤルします。

ページング グループ番号が設定されている各 IP Phone は、アイドル状態であれば、スピーカフォン モードで自動的に応答し、発信者 ID を表示します。





3. 発信者がメッセージを伝えて電話を切ると、各 IP Phone はアイドル状態に戻ります。

2 Cisco IP Phone 7905G/7912G での Cisco CallManager Express 3.2

ボタン一覧



121276

各部の名称	機能
1 Cisco IP Phone のモデル タイプ	ご使用の Cisco IP Phone の型番を示します。
2 LCD 画面	回線または通話の状態、電話番号、ソフトキー タブなどの情報を表示します。
3 ソフトキー	LCD 画面のタブに対応する機能を実行します。
4 ナビゲーション ボタン 	LCD 画面に表示されている文字のスクロール、および機能の選択を行います。電話がアイドル状態の場合、[短縮ダイヤル] メニューにショートカット アクセスします。
5 メニュー ボタン 	電話サービスにアクセスします。
6 保留ボタン 	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。
7 キーパッド	従来の電話機のキーパッドと同じように機能します。
8 音量ボタン 	受話器の音量、およびオンフックでの呼び出し音の音量を調節します。
9 受話器 (メッセージ受信ランプ付き)	従来の受話器と同じように機能します。

ソフトキー一覧

ご使用の Cisco IP Phone には、LCD 画面の下部に表示されている機能オプションに対応するソフトキーが備わっています。ソフトキーは、IP Phone の状態に応じて変化します。ソフトキーを使用して、LCD 画面のタブに対応する機能を実行します。

Cisco IP Phone 7905G および Cisco IP Phone 7912G で使用できるソフトキーの一覧を次に示します。機能はシステム設定によって異なります。

ソフトキー	機能
<< または >>	文字の編集をナビゲートします。誤入力した数字を消去するには、バックスペース ソフトキーを使用します。
アカウント	このソフトキーの使用方法については、管理者に問い合せてください。
オリカエシ	着信側の回線が使用可能になったことを発信者に通知します。
キャンセル	最後に選択した項目をキャンセルします。
フザイ	すべての通話を自動転送します。
クリア	ディレクトリの履歴を消去します。
カイギ	発信者を電話会議に接続します。
サクジョ	選択されている番号を削除します。
ダイヤル	表示されている番号をダイヤルします。
ディレクトリ	電話ディレクトリにアクセスします。
サイレント	Do-Not-Disturb (DND; 着信拒否) 機能を有効にします。
ダウン	LCD 画面のコントラストを下げます。
ヘンシュウ	番号を選択し、カーソルを動かして編集します。
シュウリョウ	通話中の電話を切ります。
シュウリョウ	現在選択している項目または画面を終了します。
フラッシュ	PSTN サービスまたはセントレックス サービスによって提供される 3 方向通話サービスおよびコール ウェイティング サービスのために、フックフラッシュ機能を提供します。
G ピック	ピックアップ グループに属する電話番号に着信したコールを選択してピックアップします。
ログイン	制限された電話機能に PIN によってアクセスします。詳細については、管理者に問い合せてください。
メッセージ	ローカル ボイスメール システムにダイヤルします。
モニタ	受話器からスピーカに切り替えて、ハンズフリーで通話を聞くことができます。
モニタオフ	スピーカから受話器に切り替えて、通話を続けることができます。
ツギへ	次のソフトキー オプションにスクロールします (たとえば、[ツギへ] ソフトキーを使用して [サイレント] ソフトキーを探し出すことができます)。
ミュート	消音のオンとオフを切り替えます。
ハッシン	スピーカフォンで新しい回線を開始して、電話をかけます。
OK	選択した項目を確認します。
パーク	システム内の全員が通話を取得できる場所に通話を転送します。
ピック	別の内線番号に着信したコールを選択してピックアップします。
サイセイ	サンプルの呼び出し音を再生します。
リダイヤル	最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
フクゲン	このソフトキーの使用方法については、管理者に問い合せてください。
フッキ	アクティブ コールに復帰します。
ホゾン	最後に行った変更を保存します。

ソフトキー	機能
ケンサク	ローカル ディレクトリの検索を開始します。
センタク	強調表示されたオプションを選択します。
セツテイ	表示のコントラスト、呼び出し音の音量や種類など、IP Phone の設定に使用します。
テンソウ	選択した通話を別の番号に転送します。
アップ	LCD 画面のコントラストを上げます。

Cisco IP Phone の操作

電話の発信

電話をかけるには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を取り上げた後に、キーパッドで番号をダイヤルする。
- [ハッシン] ソフトキーを押した後に、キーパッドで番号をダイヤルする。
- [リダイヤル] ソフトキーを押す。
- 受話器を置いたまま番号をダイヤルした後に、[ダイヤル] ソフトキーを押すか、または、受話器を取り上げる。



(注) 誤入力した数字を消去するには、バックスペース (<<) ソフトキーを使用します。

通話への応答

- 受話器を取り上げます。

通話の終了

通話を終了するには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を置く。
- [シュウリョウ] ソフトキーを押す。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした番号をリダイヤルするには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げます。
2. [リダイヤル] ソフトキーを押します。

通話の保留

通話を保留にするには

- **保留** ボタンを押します。

保留中の通話を再開するには

- 再度、**保留** ボタンを押します。



(注) 保留機能を実行すると音楽やビープ音が鳴る場合があるので、リモート会議システムにダイヤルしたときは保留の使用を避けてください。電話機でローカルに作成する簡易な3方向の電話会議の場合は、会議中に音楽やビープ音を鳴らすことなく通話を保留にできます。

通話のミュート（消音）

アクティブ コールを消音状態にして、こちらの音声に通話の相手に聞こえないようにするには

- **[ミュート]** ソフトキーを押します。**[ミュート]** ソフトキーが自動的に点灯し、通話の相手はこちらの音声がかき消えなくなります。

消音機能を解除して通話に復帰するには

- 再度 **[ミュート]** ソフトキーを押すか、または、**モニタ** 機能で消音機能を使用している場合は受話器を取り上げます。



(注) 消音機能は、通話の相手に対して音楽やビープ音を鳴らしません。

コール ウェイティングの管理

通話中に別の電話が着信した場合、ご使用の電話の設定によって、コール ウェイティング トーンが鳴るか、または、受話器受けのメッセージ受信ランプが点滅します。

新着の電話に応答するには

- **保留** ボタンを押します。通話中の電話が保留になります。

保留になった電話に復帰するには

- 再度、**保留** ボタンを押します。

その後も**保留** ボタンを押すと、通話と保留が切り替わります。

ボイスメール メッセージの取得

- **[メッセージ]** ソフトキーを押して、音声の指示に従います。

ボイスメール メッセージを取得するためのその他の方法

ボイスメール メッセージを取得するには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げて、利用可能な Cisco IP 電話回線を選択します。ダイヤル トーンが聞こえることを確認してください。
2. **メニュー** ボタンを押します。
3. キーパッドの **1** を押すか、または、**ナビゲーション** ボタンを使用してオプションのリストから **[メッセージ]** を選択します。

4. [センタク] ソフトキーを押します。
5. 音声の指示に従うか、または、[シュウリョウ] ソフトキーを押して前のディレクトリメニューに戻ります。



(注) 受話器のランプは、呼び出し音が鳴ると点滅します。また、新しいボイスメールメッセージが着信すると、ランプが点灯したままになります（機能はメッセージシステムによって異なります）。

Cisco IP Phone の設定と調節

現在の通話音量の調節

- 通話中に、音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押します。

呼び出し音の音量の調節

- 受話器を置いた状態で、音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押します。

呼び出し音の種類を選択

呼び出し音の種類を変更するには、次の手順に従います。

1. メニュー ボタンを押します。
2. キーパッドの **3** を押すか、または、ナビゲーション ボタンで [セッテイ] を指定して [センタク] ソフトキーを押します。
3. ナビゲーション ボタンを使用して、オプションをスクロールします。[センタク] ソフトキーを使用して、呼び出し音の種類を選択します。
 - ナビゲーション ボタンを使用して、呼び出し音の種類をスクロールします。
 - [サイセイ] ソフトキーを使用して、サンプルの呼び出し音を再生します。
4. 目的の呼び出し音を選択して、[センタク] ソフトキーを押します。
5. **OK** ソフトキーを押して、選択した呼び出し音を保存するか、または、[キャンセル] ソフトキーを押して、設定を変更せずに前のメニューに戻ります。
6. [シュウリョウ] ソフトキーを押して、前のディレクトリメニューに戻ります。

表示のコントラストの調節

表示のコントラストを調節するには、次の手順に従います。

1. メニュー ボタンを押します。
2. キーパッドの **3** を押すか、または、ナビゲーション ボタンで [セッテイ] を指定して [センタク] ソフトキーを押します。
3. ナビゲーション ボタンを使用して、利用可能な設定をスクロールします。[コントラスト] を選択し、[センタク] ソフトキーを押します。
4. [ダウン] または [アップ] ソフトキーを使用して、画面のコントラストを調節します。
5. **OK** ソフトキーを押して、コントラストの設定を選択します。
6. [ホゾン] ソフトキーを押して設定を保存するか、または、[キャンセル] ソフトキーを押して、設定を変更せずに前のメニューに戻ります。
7. [シュウリョウ] ソフトキーを押してメインディレクトリメニューに戻ります。

Cisco CallManager Express 3.2 機能の使用方法

着信コールの転送

すべての着信コールを Cisco IP Phone に設定されている通話転送先に転送するには

- [サイレント] ソフトキーを押します。



(注) 通話転送先が設定されていない場合、[サイレント] ソフトキーを押すと呼び出し音が鳴らなくなります。

通話のパーク

コールパークを使用すると、システム内の全員が通話を取得可能な、指定されたパーキングスポットに通話を保留できます。通話をパークするには

- [パーク] ソフトキーを押します。

Cisco CallManager Express システムによって利用可能なコールパークスロットが自動的に選択され、Cisco IP Phone の画面に番号が表示されます。

特定のコールパークスロットに通話をパークするには

- 転送ボタンを押した後に、ご使用のシステムの管理者によって提供されたコールパークスロットの番号を押します。

パークされた通話を取得するには、次のいずれかの方法に従います。

- 電話機でコールパーク通知を受信した場合、[ピック] ソフトキーを押した後に、アスタリスク (*) を押す。
- [ピック] ソフトキーを押した後に、コールパークスロットの番号を押す。



(注) コールパークスロットの番号については、ご使用のシステムの管理者にお問い合わせください。

コールブロッキング (トールバー) オーバーライド

コールブロッキングは、電話機の不正使用を防止する機能です。この機能は、指定された時刻、曜日、または日付において、指定された番号パターンを照合することによって実装されます。コールブロッキングオーバーライド機能を使用すると、個々の電話機ユーザは、定義されているコールブロッキングを無効にすることができます。

コールブロッキングが有効になっている場合に電話をかけるには、次の手順に従います。

1. Cisco IP Phone で [ログイン] ソフトキーを押します。
2. 電話機に関連付けられている PIN を入力します。



(注) Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) については、ご使用のシステムの管理者にお問い合わせください。

通話の転送

選択した通話を別の番号に転送するには、次のいずれかの方法に従います。

- ブラインド転送：転送受信者（通話の転送先となる人）と会話することなく即座に通話をリダイレクトします。
- 打診転送：最初に転送受信者と会話した後に通話をリダイレクトします。

通話を転送するには、次の手順に従います。

1. 通話中に、[テンソウ] ソフトキーを押します。通話が保留になります。
2. 通話の転送先の番号をダイヤルします。
3. ブラインド転送を実行するには
 - 回線の呼び出し音が聞こえた時点で、受話器を置きます。

打診転送を実行するには

- 通話が応答されるのを待って、転送受信者と会話します。その後で [テンソウ] ソフトキーを押すか、または、受話器を置きます。

打診転送をキャンセルするには

- [シュウリョウ] ソフトキーを押します。

元の発信者に再接続するには

- 保留ボタンを押します。

すべての通話の自動転送

すべての着信コールを別の番号に自動転送するには、次の手順に従います。

1. [フザイ] ソフトキーを押します。確認のビーブ音が鳴ります。
2. 通話の自動転送先の番号をダイヤルします。対象の番号に通話している場合でも、そこに自動転送するためにはその番号をダイヤルします。ダイヤルする際には、市内局番も含める必要があります。
3. シャープキー（#）を押します。
電話の表示は、通話が自動転送されることを示す内容に更新されます。



(注) 通話をボイスメールに自動転送するには、ボイスメール番号を手動で入力するか、または [フザイ] ソフトキー、メッセージ ボタン、[シュウリョウ] ソフトキーの順に押します。

自動転送をキャンセルするには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を置く。
- [フザイ] ソフトキーを押す。

通話のピックアップ

保留中の通話、または別の内線番号にかかっている通話をピックアップするには、次の手順に従います。

1. [ピック] ソフトキーを押します。
2. ピックアップする Cisco IP Phone の内線番号をダイヤルします。
通話の制御が自分の電話に移行します。

ピックアップ グループに属する番号に着信したコールを選択してピックアップするには、次のいずれかの方法に従います。

- **[G ピック]** ソフトキーを押す。Cisco CallManager Express システム全体で 1 つのピックアップ グループしか定義されていなければ、通話の制御が自分の電話に移行します。
- 呼び出し音が鳴っている電話と自分の電話が同一のピックアップ グループに属している場合には、アスタリスク (*) を押して通話の制御を自分の電話に移行する。
- 呼び出し音が鳴っている電話と自分の電話がそれぞれ異なるピックアップ グループに属している場合には、呼び出し音が鳴っている電話のピックアップ グループ番号をダイヤルして通話の制御を自分の電話に移行する。

電話会議の使用

3 方向の電話会議を行うには、次の手順に従います。

1. 通話中に、**[カイギ]** ソフトキーを押して新しい回線を開始し、最初の通話相手を保留にします。
2. 別の番号に電話をかけます。
3. 接続したら、再度 **[カイギ]** ソフトキーを押して、最初の通話相手との既存の通話に新しい通話相手を加えます。

Cisco IP Phone で、2 番目の通話相手と 3 番目の通話相手（一方がアクティブ状態で、もう一方が保留状態）の間で電話会議を行うには

- Cisco IP Phone で **[カイギ]** ソフトキーを押します。

電話会議の終了

- 電話会議を終了するには、受話器を置くか、または **[シュウリョウ]** ソフトキーを押します。



(注) 電話会議の開始者が接続解除すると、電話会議は終了します。

電話会議を終了するためのその他の方法

電話会議の開始者は、次のいずれかの方法を使用できます（機能はシステム設定によって異なります）。

- 電話会議を終了するが最新の通話への接続を保持するには、**[カイギ]** ソフトキーを押します。古い通話が保留になります。
- 電話会議から接続解除するには、受話器を置きます。その他の通話相手は電話会議に接続したままになります。

個人用短縮ダイヤル ボタンのプログラム

管理者によって Cisco IP Phone の短縮ダイヤルのインスタンスが定義されている場合、ロックされていない番号を再プログラムしたり、ダイヤル文字列が含まれていないインスタンスに対して番号をプログラムしたりすることができます。これらの処理を行うには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げるか、**[ハッシン]** ソフトキーを押すか、または、回線ボタンを押して、利用可能な電話回線を選択します。ダイヤルトーンが聞こえることを確認してください。
2. シャープ キー (#) を押します。
3. **メニュー** ボタンを押した後に、キーパッドの **4** を押して **[短縮ダイヤル]** を選択します。次に、**ナビゲーション** ボタンを使用して、プログラムの対象となる短縮ダイヤル ボタンを選択します。このボタンに対するプログラムの開始の確認として、短いビーブ音が鳴ります。

- 短縮ダイヤル番号を入力します。Cisco IP Phone 7905G で短縮ダイヤルを入力すると、電話番号が画面に表示されます。誤入力した数字を消去するには、バックスペース (<<) ソフトキーを使用します。
短縮ダイヤル番号を修正ではなく削除するには、シャープ キー (#) を押します。
- 受話器を置きます。または、別の短縮ダイヤルのプログラムを続ける場合は、対象の短縮ダイヤル ボタンを押してこの手順を繰り返します。

ローカル ディレクトリからの電話の発信

名前または電話番号でディレクトリを検索するには、次の手順に従います。

- メニュー ボタンを押します。
- キーパッドの **2** を押して [ディレクトリ] を選択するか、またはナビゲーション ボタンを使用してメニューをスクロールします。[センタク] ソフトキーを押して選択します。
- キーパッドの **5** を押して [ディレクトリサービス] を選択するか、またはナビゲーション ボタンを使用してメニューをスクロールします。[センタク] ソフトキーを押して選択します。
- キーパッドの **1** を押して [ローカルディレクトリ] を選択するか、またはナビゲーション ボタンを使用してメニューをスクロールします。[センタク] ソフトキーを押して選択します。
- スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、フィールドを選択します。キーパッドを使用して、検索データ、つまり検索対象の姓、名、または電話番号を入力します。
- [センタク] ソフトキーを押します。検索結果が表示されます。
- スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを使用して、エントリを選択します。
- [ダイヤル] ソフトキーを押して、選択した番号をダイヤルします。
- ディレクトリを終了するには、終了ボタンを押します。

システムの短縮ダイヤル ディレクトリからの電話の発信

名前または電話番号でディレクトリを検索するには、次の手順に従います。

- メニュー ボタンを押します。
- キーパッドの **2** を押して [ディレクトリ] を選択するか、またはナビゲーション ボタンを使用してメニューをスクロールします。[センタク] ソフトキーを押して選択します。
- キーパッドの **5** を押して [ディレクトリサービス] を選択するか、またはナビゲーション ボタンを使用してメニューをスクロールします。[センタク] ソフトキーを押して選択します。
- ナビゲーション ボタンを使用して、メニューをスクロールします。[センタク] ソフトキーを押して選択するか、または次の操作を行います。
 - ローカル短縮ダイヤルを選択するには、キーパッドの **2** を押します。
 - 個人用短縮ダイヤルを選択するには、キーパッドの **3** を押します。このソフトキーの使用方法については、管理者に問い合せてください。
- スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、フィールドを選択します。キーパッドを使用して、検索データ、つまり検索対象の姓、名、または電話番号を入力します。
- [センタク] ソフトキーを押します。検索結果が表示されます。
- スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを使用して、エントリを選択します。
- [ダイヤル] ソフトキーを押して、選択した番号をダイヤルします。
- ディレクトリを終了するには、終了ボタンを押します。

通話履歴の表示

不在着信、着信履歴、発信履歴など、Cisco CallManager Express 電話サービスにアクセスするには、次の手順に従います。

1. **メニュー** ボタンを押します。
2. キーパッドの **2** を押すか、または、**ナビゲーション** ボタンで [ディレクトリ] を指定して [**センタク**] ソフトキーを押します。
3. **ナビゲーション** ボタンを使用して、メニューをスクロールします。 [**センタク**] ソフトキーを押して選択するか、または次の操作を行います。
 - [フザイリレキ] を選択するには、キーパッドの **1** を押します。
 - [チャクシンリレキ] を選択するには、キーパッドの **2** を押します。
 - [ハッシンリレキ] を選択するには、キーパッドの **3** を押します。
4. **ナビゲーション** ボタンを使用して、通話履歴のリストをスクロールします。
5. [**センタク**] ソフトキーを使用して、電話番号を選択します。
6. [**ダイヤル**] ソフトキーを押して電話をかけるか、または、 [**シュウリョウ**] ソフトキーを押して前のディレクトリメニューに戻ります。

通話履歴からの電話の発信

通話履歴のリストにある番号に電話をかけるには、次の手順に従います。

1. **ナビゲーション** ボタンを使用して、通話履歴のリストをスクロールします。
2. [**センタク**] ソフトキーを使用して、電話番号を選択します。電話番号が画面に表示されます。
3. 画面に表示されている番号をダイヤルするには
 - [**ダイヤル**] ソフトキーを押します。画面に表示されている番号を編集してからダイヤルするには、次のように操作します。
 - a. [**ヘンシュウ**] ソフトキーを押して、画面に表示されている番号の先頭にカーソルを位置付けます。
 - b. キーパッドを使用して数字を編集します。誤入力した数字を消去するには、バックスペース (<<) ソフトキーを使用します。
 - c. [**ダイヤル**] ソフトキーを押して、電話をかけます。

通話履歴の消去

通話履歴にリストされている番号をすべて消去するには、次の手順に従います。

1. **メニュー** ボタンを押します。
2. キーパッドの **2** を押すか、または、**ナビゲーション** ボタンで [ディレクトリ] を指定して [**センタク**] ソフトキーを押します。
3. [**クリア**] ソフトキーを押します。



(注) 通話履歴のリストから特定の番号を選択して消去することはできません。

音声ページングの使用

音声ページングでは、ページングを受信するための1方向の音声パスが利用できます。ボタンを押して応答するというオプションはありません。

グループに対するページング機能を使用するには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げるか、または [ハッシン] ソフトキーを押して、利用可能な電話回線を選択します。ダイヤルトーンが聞こえることを確認してください。
2. 指定されたページンググループ番号をダイヤルします。
ページンググループ番号が設定されている各 IP Phone は、アイドル状態であれば、スピーカフォンモードで自動的に応答し、発信者 ID を表示します。
3. 発信者がメッセージを伝えて電話を切ると、各 IP Phone はアイドル状態に戻ります。

Do Not Disturb (DND; 着信拒否) の有効化

可聴呼び出し音の代わりに可視通話のアラートおよび情報を利用するには、DND を使用します。通話は、通常の call-forward-busy および call-forward-no-answer で処理されます。

DND 機能を有効にするには、次の手順に従います。

1. [ツギへ] ソフトキーを押して、[サイレント] ソフトキーを探します。
2. [サイレント] ソフトキーを押します。電話が DND モードになったことを示すテキストメッセージが表示されます。



(注)

[サイレント] ソフトキーを押すと、通話は電話機に設定されている通話転送先に即座に転送されます。通話転送先が設定されていない場合、[サイレント] ソフトキーを押すと呼び出し音が鳴らなくなります。

DND 機能を無効にするには、ステップ 1 と 2 を繰り返します。

3 Cisco IP Phone 7910G での Cisco CallManager Express 3.2

ボタン一覧



各部の名称	機能
1 Cisco IP Phone のモデル タイプ	ご使用の Cisco IP Phone の型番を示します。
2 角度調節用フットスタンド	電話機本体の角度を調節します。
3 メッセージ ボタン	ボイスメール メッセージにアクセスします。
4 会議 ボタン	発信者を電話会議に接続します。
5 自動転送ボタン	すべての通話を別の番号にリダイレクトします。
6 リダイヤル ボタン	最後にダイヤルした番号を自動的にリダイヤルします。
7 スピーカ ボタン	スピーカのオンとオフを切り替えます。
8 ミュート ボタン	消音のオンとオフを切り替えます。
9 音量ボタン	受話器、スピーカ、または呼び出し音の音量を調節します。また、LCD 画面のコントラストも調節します。
10 短縮ボタン	番号をすばやく呼び出します。
11 キーパッド	従来の電話機のキーパッドと同じように機能します。
12 受話器 (メッセージ受信ランプ付き)	従来の受話器と同じように機能します。
13 LCD 画面	回線または通話の状態、電話番号、ソフトキー タブなどの情報を表示します。
14 回線ボタン	新しい回線を開始します。
15 保留ボタン	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。
16 転送ボタン	現在の通話を別の番号に転送します。
17 設定ボタン	受話器、スピーカ、呼び出し音の音量や呼び出し音の種類、および LCD 画面のコントラストを調節します。

設定

LCD 画面に表示される Cisco IP Phone の設定メニューを調節するには、次のいずれかの方法に従います。

- 設定ボタンを押してメニューにアクセスする。
- 音量ボタンを押してリストをナビゲートする。

各設定とそれに対応するキーパッドの番号の一覧を次に示します。機能はシステム設定によって異なります。

キーパッドの番号	設定
1	受話器の音量
2	スピーカの音量
3	呼び出し音の音量
4	モデル情報
5	LCD 画面の表示のコントラスト
6	ネットワーク構成
7	呼び出し音の種類
8	タイマー

Cisco IP Phone の操作

電話の発信

電話をかけるには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を取り上げた後に番号をダイヤルする。
- 回線ボタンを押した後に番号をダイヤルする。
- スピーカ ボタンを押した後に番号をダイヤルする。ミュート ボタンが自動的に点灯し、着信側はこちらの音声がかえなくなります。



(注) Cisco IP Phone 7910G は、スピーカフォンの双方向処理をサポートしていません。スピーカ ボタンを使用すると、ハンズフリーの聞き取り専用モードで相手の話やメッセージを聞くことはできますが、こちらから相手に話しかけることはできません。相手に話しかけるには、受話器を使用する必要があります。受話器を使用しているときにミュート ボタンを押すと、受話器のマイクロフォンに備わっている消音機能のオンとオフを切り替えることができます。

- 短縮ボタンを押す。

通話への応答

- 受話器を取り上げます。

通話の終了

通話を終了するには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を置く。

- **スピーカ** ボタンを押す（スピーカを使用している場合）。
- **回線** ボタンを押す。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした番号をリダイヤルするには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を取り上げた後に**リダイヤル** ボタンを押す。
- **リダイヤル** ボタンを押してスピーカフォンでダイヤルする。応答した相手に話しかけるには、受話器を取り上げる必要があります。

通話の保留

通話を保留にするには

- **保留** ボタンを押します。

保留中の通話を再開するには

- 再度、**保留** ボタンを押します。



(注) 保留機能を実行すると音楽やビープ音が鳴る場合があるので、リモート会議システムにダイヤルしたときは保留の使用を避けてください。電話機でローカルに作成する簡易な3方向の電話会議の場合は、会議中に音楽やビープ音を鳴らすことなく通話を保留にできます。

通話のミュート（消音）

アクティブ コールを消音状態にして、こちらの音声に通話の相手に聞こえないようにするには

- **ミュート** ボタンを押します。ミュート ボタンが自動的に点灯し、通話の相手はこちらの音声聞こえなくなります。

消音機能を解除して通話に復帰するには

- 再度、**ミュート** ボタンを押します。スピーカフォンで消音機能を使用している場合、相手に話しかけるには受話器を取り上げる必要があります。



(注) 消音機能は、通話の相手に対して音楽やビープ音を鳴らしません。

コール ウェイティングの管理

同一回線上の通話を選択するには、**保留** ボタンを押します。

ボイスメール メッセージの取得

ボイスメールメッセージにアクセスするには

- **メッセージ** ボタンを押して、音声の指示に従います。

新しいメッセージが1つ以上ある場合、メッセージ受信のインジケータ（MWI）が設定されていれば、受話器のメッセージ受信ランプが点灯します。

Cisco IP Phone の設定と調節

現在の通話音量の調節

音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、スピーカや受話器の音量を調節します。

受話器の音量の調節

受話器の音量を調節するには、次の手順に従います。

1. 設定ボタンを押します。
2. キーパッドの **1** を押します。
3. 音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、好みの音量に調節します。
4. キーパッドのシャープキー (**#**) を押して、変更を保存します。
5. 設定ボタンを押して、メインメニューに戻ります。

スピーカの音量の調節

スピーカの音量を調節するには、次の手順に従います。

1. 設定ボタンを押します。
2. キーパッドの **2** を押します。
3. 音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、好みの音量に調節します。
4. キーパッドのシャープキー (**#**) を押して、変更を保存します。
5. 設定ボタンを押して、メインメニューに戻ります。

呼び出し音の音量の調節

呼び出し音の音量を調節するには、次の手順に従います。

1. 設定ボタンを押します。
2. キーパッドの **3** を押します。
3. 音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、好みの音量に調節します。
4. キーパッドのシャープキー (**#**) を押して、変更を保存します。
5. 設定ボタンを押して、メインメニューに戻ります。

呼び出し音の種類を選択

呼び出し音の種類を調節するには、次の手順に従います。

1. 設定ボタンを押します。
2. キーパッドの **7** を押します。
3. 音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、利用可能な呼び出し音の種類のリストをスクロールします。
4. キーパッドのシャープキー (**#**) を押して、変更を保存します。
5. 設定ボタンを押して、メインメニューに戻ります。

表示のコントラストの調節

表示のコントラストを調節するには、次の手順に従います。

1. **設定** ボタンを押します。
2. キーパッドの **5** を押します。
3. **音量** ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、表示を好みのコントラストに設定します。
4. キーパッドのシャープ キー (**#**) を押して、変更を保存します。
5. **設定** ボタンを押して、メイン メニューを終了します。

Cisco CallManager Express 3.2 機能の使用法

通話の転送

選択した通話を別の番号に転送するには、2通りの方法があります。

- **ブラインド転送**：転送受信者（通話の転送先となる人）と会話することなく即座に通話をリダイレクトします。
- **打診転送**：最初に転送受信者と会話した後に通話をリダイレクトします。

通話を転送するには、次の手順に従います。

1. 通話中に、**転送** ボタンを押します。通話が保留になります。
2. 通話の転送先の番号をダイヤルします。相手が応答した後に受話器を置きます。

ブラインド転送を実行するには

- 回線の呼び出し音が聞こえた時点で、受話器を置くか、または、**転送** ボタンを押します。

保留になった電話に復帰するには

- **保留** ボタンを押して、元の通話に復帰します。

すべての通話の自動転送

すべての着信コールを別の番号に自動転送するには、次の手順に従います。

1. **自動転送** ボタンを押します。確認のビープ音が鳴ります。
2. 通話の自動転送先の番号をダイヤルします。対象の番号に通話している場合でも、そこに自動転送するためにはその番号をダイヤルします。
3. **スピーカ** ボタンを押した後に受話器を置きます。電話の表示は、通話が自動転送されることを示す内容に更新されません。

自動転送をキャンセルするには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を置く。
- **自動転送** ボタンを押す。



(注) 通話をボイスメールに自動転送するには、ボイスメール番号を手動で入力するか、または**自動転送** ボタンを押してから**メッセージ** ボタンを押します。

自動転送 ボタン、**短縮 1** または **短縮 2** ボタンを順番に押すと、通話が短縮ダイヤル番号に自動転送されます。

電話会議の使用

3方向の電話会議を行うには、次の手順に従います。

1. 通話中に、**会議**ボタンを押して新しい回線を開始し、別の番号に電話をかけます。最初の通話相手が保留になります。
2. 接続したら、再度**会議**ボタンを押して、元の発信者との既存の通話に新しい通話相手を加えます。

元の通話に3番目の通話相手を追加するのをキャンセルするには、次の手順に従います。

1. **回線**ボタンを押します。
2. **保留**ボタンを押して、元の通話に再接続します。

Cisco IP Phone で、2番目の通話相手と3番目の通話相手（一方がアクティブ状態で、もう一方が保留状態）の間で電話会議を行うには

- Cisco IP Phone で**会議**ボタンを押します。

電話会議の終了

- 電話会議を終了するには、受話器を置きます。



(注) 電話会議の開始者が接続解除すると、電話会議は終了します。

電話会議を終了するためのその他の方法

電話会議の開始者は、次のいずれかの方法を使用できます（機能はシステム設定によって異なります）。

- 電話会議から接続解除するには、受話器を置きます。
- 電話会議を終了するが最新の通話への接続を保持するには、**会議**ボタンを押します。古い通話が保留になります。

短縮ダイヤル ボタンのプログラム

短縮ダイヤル ボタンをプログラムするには、次の手順に従います。

1. 利用可能な IP 電話回線を選択します。ダイヤル トーンが聞こえることを確認してください。
2. シャープ キー (#) を押します。
3. プログラムの対象となる 短縮ダイヤル ボタンを押します。このボタンに対するプログラムの開始の確認として、短いピープ音が鳴ります。
4. 短縮ダイヤル番号を入力します。電話番号が画面に表示されます。
5. シャープ キー (#) を押して受話器を置くか、または、再度、同じ短縮ダイヤル ボタンを押すことにより、短縮ダイヤル番号の入力を終了して、新しい短縮ダイヤル番号を登録します。
6. 受話器を置きます。または、別の短縮ダイヤルのプログラムを続ける場合は、対象の短縮ダイヤル ボタンを押してこの手順を繰り返します。

短縮ダイヤル ボタンでの電話の発信

短縮ダイヤル ボタンから電話をかけるには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げます。
2. **短縮 1** または **短縮 2** ボタンを押します。

音声ページングの使用

音声ページングでは、ページングを受信するための1方向の音声パスが利用できます。ボタンを押して応答するというオプションはありません。

グループに対するページング機能を使用するには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げて、利用可能な電話回線を選択します。ダイヤル トーンが聞こえることを確認してください。
2. 指定されたページング グループ番号をダイヤルします。

ページング グループ番号が設定されている各 IP Phone は、アイドル状態であれば、スピーカフォン モードで自動的に応答し、発信者 ID を表示します。

3. 発信者がメッセージを伝えて電話を切ると、各 IP Phone はアイドル状態に戻ります。

4 Cisco IP Phone 7914 拡張モジュールでの Cisco CallManager Express 3.2

ボタン一覧



	各部の名称	機能
1	Cisco IP Phone のモデル タイプ	ご使用の Cisco IP Phone の型番を示します。
2	LCD 画面	各ボタンに割り当てられている電話番号、短縮ダイヤル番号、名前、およびその他の文字列を表示します。また、回線の状態を示すアイコンも表示します。これらのアイコンの機能は Cisco IP Phone 7960G 上のアイコンと同じ働きをします。
3	14 個のライト ボタン	各ボタンが 1 回線に対応しています。各ボタンのライトは、対応する回線の状態を次のようなルールで表示します。 <ul style="list-style-type: none">• 黄に点滅：呼び出し中の回線• 緑に点滅：保留中の通話• 消灯：使用可能な回線• 緑に点灯：自分が使用中の回線または転送中の通話• 赤に点灯：他の人が使用中の回線

Cisco IP Phone の操作

基本的な通話機能の実行

電話への応答、通話の保留や転送、コール ウェイティングなど、すべての通話機能は、Cisco IP Phone 7960G から実行されます。Cisco IP Phone の使用方法については、P.33 の「Cisco IP Phone 7960G/7940G での Cisco CallManager Express 3.2」を参照してください。

Cisco IP Phone の設定と調節

表示のコントラストの調節

Cisco IP Phone 7914 拡張モジュールの表示のコントラストを調節するには、次の手順に従います。

1. Cisco IP Phone 7960G で、**設定** ボタンを押します。
2. [コントラスト] を選択し、[センタク] ソフトキーを押します。
3. [コントラスト] メニューから [カクチョウモジュール] を選択します。
拡張モジュール 1 の [コントラスト] 画面が表示されます。
4. [アップ] および [ダウン] ソフトキーを押して、先頭の拡張モジュールに対して目的のコントラストを設定します。
2 番目の拡張モジュールがある場合は、[ツギへ] を押します。拡張モジュール 2 の [コントラスト] 画面が表示されます。[アップ] および [ダウン] ソフトキーを押して、2 番目の拡張モジュールに対して目的のコントラストを設定します。
5. [シュウリョウ] ソフトキーを押して変更を受け入れ、メインディレクトリメニューに戻ります。

Cisco CallManager Express 3.2 機能の使用法

通話の転送

着信コールを転送するには、**転送** ボタンを押した後に、通話の転送先となる内線番号の**回線** ボタンを押します。この手順による転送は、常にブラインド転送として起動します。

回線の状態は、次のとおり表示されます。

- アイドル状態の回線の場合、オンフックになっている電話のアイコンが表示される。
- 使用中の回線の場合、×印が点滅する電話のアイコンが表示される。
- メッセージを保持している回線の場合、点滅する封筒のアイコンが表示される。

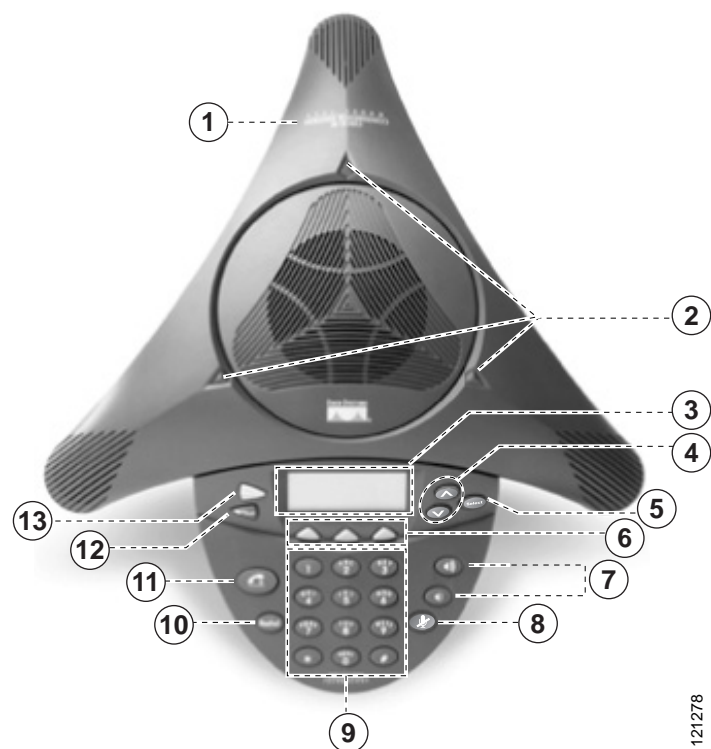
個人用短縮ダイヤル ボタンのプログラム

管理者によって Cisco IP Phone の短縮ダイヤルのインスタンスが定義されている場合、ロックされていない番号を再プログラムしたり、ダイヤル文字列が含まれていないインスタンスに対して番号をプログラムしたりすることができます。これらの処理を行うには、次の手順に従います。




1. [ハッシン] ソフトキーを押すか、または、回線ボタンを押して、利用可能な電話回線を選択します。ダイヤル トーンが聞こえることを確認してください。
2. シャープ キー (#) を押します。
3. プログラムの対象となる**短縮ダイヤル** ボタンを押します。このボタンに対するプログラムの開始の確認として、短いビーブ音が鳴ります。
4. 短縮ダイヤル番号を入力します。電話番号が画面に表示されます。短縮ダイヤル番号を入力し直す場合は、バックスペース (<<) ソフトキーを使用して、誤入力した数字を消去します。
短縮ダイヤル番号を修正ではなく削除するには、シャープ キー (#) を押します。
5. 受話器を置きます。または、追加の短縮ダイヤル ボタンのプログラムを続ける場合は、対象の短縮ダイヤル ボタンを押してこの手順を繰り返します。








5 Cisco IP Phone 7935/7936 Conference Station での Cisco CallManager Express Services 3.2

ボタン一覧



121278

各部の名称	機能
1 Cisco IP Phone のモデル タイプ	ご使用の Cisco IP Phone の型番を示します。
2 LED	LED は通話の状態に応じて次のように変化します。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑に点灯：ダイヤルトーン、ダイヤル中、接続中 • 緑に点滅：呼び出し中 / 接続中 • 呼び出し音とともに緑に点滅：着信コール • 消灯：通話なし • 赤に点灯：電源オン、保留 • 赤に点滅：ミュート
3 LCD 画面	回線または通話の状態、電話番号、ソフトキー タブなどの情報を表示します。
4 スクロール ボタン  	メニュー、または LCD 画面に表示されるオープン リストをスクロールします。
5 選択ボタン 	強調表示されたメニュー オプションまたはリスト項目を選択します。
6 ソフトキー	LCD 画面のタブに対応する機能を実行します。

	各部の名称	機能
7	音量ボタン  	現在アクティブになっている受話器、スピーカ、呼び出し音、またはダイヤルトーンの音量を調節します。
8	ミュートボタン 	消音のオンとオフを切り替えます。
9	キーパッド	従来の電話機のキーパッドと同じように機能します。
10	リダイヤルボタン 	最後にダイヤルした番号を自動的にリダイヤルします。
11	電話ボタン 	ダイヤルトーンの確認、着信コールへの応答、および通話の終了を行います。
12	終了ボタン 	メニュー、リスト、または電話帳から LCD 初期画面に戻ります。
13	メニューボタン 	Cisco IP Conference Station のメインメニューを開いたり閉じたりします。メインメニューから次の項目を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> • Call Functions : ピックアップ、グループ ピックアップ、転送などの通話機能オプションを開きます。 • Phone Book : 電話帳を開きます。 • Settings : コントラストや呼び出し音などの設定オプションを開きます。 • Admin Setup : 管理設定を開きます (管理者のパスワードが必要です)。 • System Information : システムの設定を読み取り専用で表示します。

ソフトキー一覧

ご使用の Cisco IP Phone には、LCD 画面の下部に表示されている機能オプションに対応するソフトキーが備わっています。使用できるソフトキーの一覧を次に示します。機能はシステム設定によって異なります。

ソフトキー	機能
<< または >>	文字の編集をナビゲートします。誤入力した数字を消去するには、バックスペース ソフトキーを使用します。
- または +	表示のコントラストを調節します。
Answer	着信コールに応答します。
Call	選択された電話番号をダイヤルします。
Cancel	最後に選択した項目をキャンセルします。
CFwdALL	すべての通話を自動転送します。
Change	電話帳のエントリを変更します。
Clr Entry	電話帳のエントリを消去します。
Conf	通話相手を電話会議に加えます。

ソフトキー	機能
Corp Dir	ローカル ディレクトリを表示します。
Dial	ディレクトリにある番号を呼び出します。
EndCall	通話中の電話を切ります。
Hold	アクティブ コールを保留にします。
New Entry	電話帳にエントリを追加します。
Ph Book	電話帳を表示します。
Resume	元の通話に復帰します。
Save	エントリを保存します。
Search	ディレクトリの検索を開始します。
Trnsfer	現在の通話を転送します。
View/Edit	表示機能および編集機能をイネーブルにします。

Cisco IP Phone の操作

電話の発信

電話をかけるには、次のいずれかの方法に従います。

- **電話** ボタンを押した後に番号をダイヤルする。
- 番号をダイヤルした後に**電話** ボタンを押す。

通話への応答

通話に応答するには、次のいずれかの方法に従います。

- **電話** ボタンを押す。
- **Answer** ソフトキーを押す。

通話の終了

通話を終了するには、次のいずれかの方法に従います。

- **電話** ボタンを押す。
- **EndCall** ソフトキーを押す。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした番号をリダイヤルするには

- **リダイヤル** ボタンを押します。

通話の保留

通話を保留にするには

- 通話中に、**Hold** ソフトキーを押します。保留になった通話は、LCD 画面のアクティブ コール リストに表示されます。

保留になった電話に復帰するには

- **Resume** ソフトキーを押します。
- 複数の通話が保留になっている場合は、スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、LCD 画面のアクティブ コール リストから通話を選択し、**Resume** ソフトキーを押します。



(注) 保留機能を実行すると音楽やビープ音が鳴る場合があるので、リモート会議システムにダイヤルしたときは保留の使用を避けてください。電話機でローカルに作成する簡易な 3 方向の電話会議の場合は、会議中に音楽やビープ音を鳴らすことなく通話を保留にできます。

通話のミュート（消音）

通話を消音状態にするには

- 通話中にミュート ボタンを押します。LED が赤に点滅し、Mute アイコンが LCD 画面に表示されます。

消音機能を解除するには

- 再度、ミュート ボタンを押します。



(注) 消音機能は、通話の相手に対して音楽やビープ音を鳴らしません。

Cisco IP Phone の設定と調節

現在の通話音量の調節

- 音量ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、音量を調節します。

表示のコントラストの調節

LCD 画面の表示のコントラストを調節するには、次の手順に従います。

1. メニュー ボタンを押します。
2. スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Settings** を選択します。選択ボタンを押します。
3. スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、コントラストのエントリを選択します。
4. - または + ソフトキーを押して、LCD 画面の表示を好みのコントラストに設定します。
5. メニュー ボタンを押してメイン メニューに戻るか、または、終了ボタンを押して LCD 初期画面に戻ります。

Cisco CallManager Express 3.2 機能の使用法

通話の転送

通話を転送するには、次の手順に従います。

1. 通話中に、**Trnsfer** ソフトキーを押します。通話が保留になります。
2. 通話の転送先の番号をダイヤルします。
3. 番号をダイヤルし終わるとすぐに通話は転送され、ダイヤルした Cisco 7935 IP Phone から自動的に接続解除されます。



(注) 転送に失敗した場合は、**Resume** ソフトキーを押して元の通話に復帰してください。

すべての通話の自動転送

すべての着信コールを別の番号に自動転送するには、次の手順に従います。

1. **CFwdALL** ソフトキーを押します。確認のビープ音が鳴ります。
2. 通話の自動転送先の番号をダイヤルします。対象の番号に通話している場合でも、そこに自動転送するためにはその番号をダイヤルします。ダイヤルする際には、市内局番も含める必要があります。
3. シャープ キー (#) を押します。
電話の表示は、通話が自動転送されることを示す内容に更新されます。



(注) 通話をボイスメールに自動転送するには、ボイスメール番号を手動で入力するか、または **CFwdALL** ソフトキー、**メニュー** ボタン、**Messages** メニュー オプション、**EndCall** ソフトキーの順に押します。

自動転送をキャンセルするには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を置く。
- **CFwdALL** ソフトキーを押す。

電話会議の使用

3 方向の電話会議を行うには、次の手順に従います。

1. **電話** ボタンを押します。
2. 電話会議に加える相手の番号をダイヤルします。
3. 接続したら **Conf** ソフトキーを押して、最初の通話相手との既存の通話に新しい通話相手を加えます。
4. 電話帳を使用して通話相手を電話会議に加えるには、**Ph Book** ソフトキーを押し、スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して目的のエントリを選択します。

Cisco IP Phone で、2 番目の通話相手と 3 番目の通話相手（一方がアクティブ状態で、もう一方が保留状態）の間で電話会議を行うには

- Cisco IP Phone で **Conf** ソフトキーを押します。

電話会議の終了

- 電話会議を終了するには、**電話** ボタンを押します。



(注) 電話会議の開始者が接続解除すると、電話会議は終了します。

電話会議を終了するためのその他の方法

電話会議の開始者は、次のいずれかの方法を使用できます（機能はシステム設定によって異なります）。

- 電話会議を終了するが最新の通話への接続を保持するには、**Conf** ソフトキーを押します。古い通話が保留になります。
- 電話会議から接続解除するには、受話器を置きます。その他の通話相手は電話会議に接続したままになります。

音声ページングの使用

音声ページングでは、ページングを受信するための 1 方向の音声パスが利用できます。ボタンを押して応答するというオプションはありません。

グループに対するページング機能を使用するには、次の手順に従います。

- 利用可能な電話回線を選択し、ダイヤル トーンを確認します。
- 指定されたページング グループ番号をダイヤルします。
ページング グループ番号が設定されている各 IP Phone は、アイドル状態であれば、スピーカフォン モードで自動的に応答し、発信者 ID を表示します。
- 発信者がメッセージを伝えて電話を切ると、各 IP Phone はアイドル状態に戻ります。



(注) Cisco IP Phone 7935 Conference Station および Cisco IP Phone 7936 Conference Station は、ページングを受信するように指定できません。

ローカル ディレクトリからの電話の発信

名前または電話番号でディレクトリを検索するには、次の手順に従います。

- Corp Dir** ソフトキーを押します。
- スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、フィールドを選択します。キーパッドを使用して、検索データ、つまり検索対象の姓、名、または電話番号を入力します。
- Search** ソフトキーを押します。検索結果が表示されます。
- スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを使用して、エントリを選択します。
- Dial** ソフトキーを押して、選択した番号をダイヤルします。
- ディレクトリを終了するには、**終了** ボタンを押します。

個人用電話帳の使用

電話帳を使用するには、次の手順に従います。

- Ph Book** ソフトキーを押します。
- 電話帳の番号を呼び出すには、スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して目的のエントリを選択します。
- Call** ソフトキーを押します。

個人用電話帳へのエントリの追加

電話帳にエントリを追加するには、次の手順に従います。

1. **NewEntry** ソフトキーを押します。
2. キーパッドを使用して、新しいエントリの姓、名、および電話番号を入力します。
3. スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、**Last**、**First**、または **Number** のいずれかのフィールドを選択します。
文字を入力するには、目的の文字が割り当てられている番号キーを選択し、その文字の位置に対応する回数分、選択した番号キーを押します。たとえば、**B** を入力するには 2 キーを 2 回、**C** を入力するには 2 キーを 3 回押します。
誤入力した文字を消去するには、バックスペース (<<) ソフトキーを使用します。
4. **Save** ソフトキーを押して新しいエントリを保存します。



(注) 電話帳に追加できるエントリ数は最大 20 個です。

個人用電話帳のエントリの編集

電話帳のエントリを編集するには、次の手順に従います。



1. スクロール ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、エントリを選択します。
2. **View/Edit** ソフトキーを押します。
3. **Change** ソフトキーまたは **Clr Entry** ソフトキーを使用して、特定のエントリを変更または消去することができます。
誤入力した文字を消去するには、バックスペース ソフトキー (<<) を押します。
4. **Save** ソフトキーを押して変更を保存します。保存せずに終了するには、**Exit** を押します。
5. **メニュー** ボタンを押してメインメニューに戻るか、または、**Exit** を押して LCD 初期画面に戻ります。




6 Cisco IP Phone 7960G/7940G での Cisco CallManager Express 3.2

ボタン一覧

Cisco IP Phone 7960G と Cisco IP Phone 7940G の違いは、利用可能な回線ボタンまたは短縮ダイヤル ボタンの数だけです。Cisco IP Phone 7940G には 2 つの回線、7960G には 6 つの回線が備わっています。



各部の名称	機能
1 Cisco IP Phone のモデルタイプ	ご使用の Cisco IP Phone の型番を示します。
2 LCD 画面	回線または通話の状態、電話番号、ソフトキー タブなどの情報を表示します。
3 回線ボタンまたは短縮ダイヤルボタン ●	新しい回線を開始したり、電話番号を短縮ダイヤルしたり、電話を切ったりします。Cisco IP Phone 7940G には 2 つの回線、Cisco IP Phone 7960G には 6 つの回線が備わっています。
4 角度調節用フットスタンド	電話機本体の角度を調節します。
5 ディレクトリ ボタン 	電話ディレクトリにアクセスします。
6 ? ボタン 	未使用。
7 設定ボタン 	表示のコントラストや呼び出し音の種類など、IP Phone の設定に使用します。
8 スピーカ ボタン 	スピーカのオンとオフを切り替えます。
9 ミュート ボタン 	消音のオンとオフを切り替えます。
10 ヘッドセット ボタン 	ヘッドセットのオンとオフを切り替えます。
11 音量ボタン 	受話器、ヘッドセット、呼び出し音、またはスピーカフォンの音量を調節します。

	各部の名称	機能
12	サービス ボタン 	電話サービスにアクセスします。
13	メッセージ ボタン 	メッセージ システムにアクセスします。
14	ナビゲーション ボタン 	LCD 画面に表示されている文字のスクロール、および機能の選択を行います。
15	キーパッド	従来の電話機のキーパッドと同じように機能します。
16	ソフトキー	LCD 画面のタブに対応する機能を実行します。
17	受話器 (メッセージ受信ランプ付き)	従来の受話器と同じように機能します。

ソフトキー一覧

ご使用の Cisco IP Phone には、LCD 画面の下部に表示されている機能オプションに対応するソフトキーが備わっています。ソフトキーは、IP Phone の状態に応じて変化します。

Cisco IP Phone 7940G または 7960G で使用できるソフトキーの一覧を次に示します。機能はシステム設定によって異なります。

ソフトキー	機能
<< または >>	文字の編集をナビゲートします。誤入力した数字を消去するには、バックスペース ソフトキーを使用します。
アカウント	このソフトキーの使用方法については、管理者に問い合せてください。
アウトウ	着信コールに応答します。
オリカエシ	着信側の回線が使用可能になったことを発信者に通知します。
キャンセル	最後に選択した項目をキャンセルします。
フザイ	すべての通話を自動転送します。
クリア	ディレクトリの履歴を消去します。
カイギ	発信者を電話会議に接続します。
サクジョ	選択されている番号を削除します。
ダイヤル	表示されている番号をダイヤルします。
サイレント	Do-Not-Disturb (DND; 着信拒否) 機能をイネーブルにします。
ダウン	LCD 画面のコントラストを下げます。
ヘンシュウ	番号を選択し、カーソルを動かして編集します。
シュウリョウ	通話中の電話を切ります。
シュウリョウ	現在選択している項目を終了します。
フラッシュ	PSTN サービスまたはセントレックス サービスによって提供される 3 方向通話サービスおよびコール ウェイティング サービスのために、フックフラッシュ機能を提供します。
G ピック	ピックアップ グループに属する電話番号に着信したコールを選択してピックアップします。
ホリユウ	アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。

ソフトキー	機能
ログイン	制限された電話機能に PIN によってアクセスします。詳細については、管理者に問い合せてください。
ツギへ	次のソフトキー オプションにスクロールします (たとえば、[ツギへ] ソフトキーを使用して [サイレント] ソフトキーを探し出すことができます)。
ハッシン	スピーカフォンで新しい回線を開始して、電話をかけます。
OK	選択した項目を確認します。
パーク	システム内の全員が通話を取得できる場所に通話を転送します。
ピック	別の内線番号に着信したコールを選択してピックアップします。
サイセイ	サンプルの呼び出し音を再生します。
リダイヤル	最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
フッキ	アクティブ コールに復帰します。
ホゾン	最後に行った変更を保存します。
ケンサク	ローカル ディレクトリの検索を開始します。
センタク	強調表示されたオプションを選択します。
テンソウ	アクティブ コールを別の内線番号に転送します。
アップ	LCD 画面のコントラストを上げます。

Cisco IP Phone の操作

電話の発信

電話をかけるには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を取り上げた後に番号をダイヤルする。
- 番号をダイヤルした後に受話器を取り上げる。
- 番号をダイヤルした後に [ダイヤル] ソフトキーを押す。
- 内線番号の回線ボタンを押した後にダイヤルする。
- **スピーカ** ボタンを押した後にダイヤルする。
- [ハッシン] ソフトキーを押した後にダイヤルする。
- ヘッドセットを使用している場合は、**ヘッドセット** ボタンを押した後にダイヤルする。
- 番号をダイヤルした後に**ヘッドセット** ボタンを押す。
- 短縮ダイヤル番号を設定している場合は、短縮ダイヤル ボタンを押す。
- ディレクトリから番号を選択した場合は、[ダイヤル] ソフトキーを押す。
- 誤入力した数字を消去するには、バックスペース (<<) ソフトキーを使用する。

通話への応答

通話に応答するには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を取り上げる。
- ヘッドセットを使用している場合は、**ヘッドセット** ボタンを押す。必要に応じて、回線ボタンを押して着信コールを選択します。
- スピーカフォンを使用するには、[オウトウ] ソフトキーまたは**スピーカ** ボタンを押す。

通話の終了

通話を終了するには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を置く。
- ヘッドセットを使用している場合は、**ヘッドセット** ボタンまたは **[シュウリョウ]** ソフトキーを押す。
- スピーカフォンを使用している場合は、**スピーカ** ボタンまたは **[シュウリョウ]** ソフトキーを押す。

番号のリダイヤル

最後にダイヤルした番号をリダイヤルするには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を取り上げた後に **[リダイヤル]** ソフトキーを押す。
- **[リダイヤル]** ソフトキーを押してスピーカフォンでダイヤルする。

通話の保留

通話を保留にするには

- **[ホリユウ]** ソフトキーを押します。

保留中の通話を再開するには

- **[フッキ]** ソフトキーを押します。
 - 複数の通話が保留になっている場合は、**ナビゲーション** ボタンを使用して目的の通話を選択した後に、**[フッキ]** ソフトキーを押します。
 - 複数の回線で複数の通話が保留になっている場合は、ピックアップする回線の回線ボタンを押します。他の回線の通話は自動的に保留になります。



(注) 保留機能を実行すると音楽やビープ音が鳴る場合があるので、リモート会議システムにダイヤルしたときは保留の使用を避けてください。電話機でローカルに作成する簡易な3方向の電話会議の場合は、会議中に音楽やビープ音を鳴らすことなく通話を保留にできます。

通話のミュート（消音）

通話を消音状態にするには

- 通話中に**ミュート** ボタンを押します。**ミュート** ボタンが点灯し、通話の相手はこちらの音声が聞こえなくなります。

消音機能を無効にするには、次のいずれかの方法に従います。

- 再度、**ミュート** ボタンを押す。
- スピーカフォンで消音機能を使用している場合は、受話器を取り上げる。



(注) 消音機能は、通話の相手に対して音楽やビープ音を鳴らしません。

コール ウェイティングの管理

通話中に別の電話が着信した場合、ご使用の電話の設定によって、コール ウェイティング トーンが鳴るか、または、受話器受けのメッセージ受信ランプが点滅します。

新着の電話に同じ回線で応答するには、次の手順に従います。

1. ナビゲーション ボタンを押して通話を選択します。
2. [アウトウ] ソフトキーを押して、通話に応答します。他の回線の通話は自動的に保留になります。

保留になった電話に復帰するには、次の手順に従います。

1. ナビゲーション ボタンを押して通話を再選択します。
2. [フッキ] ソフトキーを押して、その通話に再接続します。

別の回線の通話については

- 着信コールの**回線**ボタンを押します。他の回線の通話は自動的に保留になります。

保留になった電話に復帰するには

- 元の通話に対応する**回線**ボタンを押します。

ボイスメール メッセージの取得

ボイスメール メッセージにアクセスするには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げるか、スピーカ ボタンを押すか、または、回線ボタンを押して、利用可能な Cisco IP 電話回線を選択します。ダイヤル トーンが聞こえることを確認してください。
2. メッセージ ボタンを押して、音声の指示に従います。



(注) 新しいメッセージが 1 つ以上ある場合、メッセージ受信のインジケータ (MWI) が設定されていれば、受話器のメッセージ受信ランプが点灯します。

Cisco IP Phone の設定と調節

現在の通話音量の調節

現在の通話について、受話器、スピーカフォン、またはヘッドセットの音量を調節するには、次の手順に従います。

1. 通話中に、**音量**ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押します。
2. [ホゾン] ソフトキーを押して、調節した音量を以降の通話に適用します。

呼び出し音の音量の調節

- 受話器を置いた状態で、**音量**ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押します。

呼び出し音の種類を選択

呼び出し音を変更するには、次の手順に従います。

1. **設定**ボタンを押します。
2. 呼び出し音の種類を示す **2** を押すか、または、**ナビゲーション** ボタンを押して呼び出し音の種類にスクロールし、[セクタク] ソフトキーを押します。

3. ナビゲーション ボタンを使用して、呼び出し音の種類のリストをスクロールします。[サイセイ] ソフトキーを押して、サンプルの呼び出し音を確認します。
4. 目的の呼び出し音を選択して、[センタク] ソフトキーを押します。
5. OK ソフトキーを押して、呼び出し音の設定を選択します。
6. [ホゾン] ソフトキーを押して設定を保存するか、または、[キャンセル] ソフトキーを押して、設定を変更せずに前のメニューに戻ります。
7. [シュウリョウ] ソフトキーを押してメインディレクトリ メニューに戻ります。

表示のコントラストの調節

LCD 画面の表示のコントラストを調節するには、次の手順に従います。

1. 設定ボタンを押します。
2. コントラストを示す 1 を押すか、または、[センタク] ソフトキーを使用します。
3. [ダウン] または [アップ] ソフトキーを使用してコントラストを変更します。
4. OK ソフトキーを押します。
5. [ホゾン] ソフトキーまたは [シュウリョウ] ソフトキーを押します。
6. OK ソフトキーを押して、コントラストの設定を選択します。
7. [ホゾン] ソフトキーを押して設定を保存するか、または、[キャンセル] ソフトキーを押して、設定を変更せずに前のメニューに戻ります。
8. [シュウリョウ] ソフトキーを押してメインディレクトリ メニューに戻ります。

Cisco CallManager Express 3.2 機能の使用方法

着信コールの転送

すべての着信コールを Cisco IP Phone に設定されている通話転送先に転送するには

- [サイレント] ソフトキーを押します。



(注) 通話転送先が設定されていない場合、[サイレント] ソフトキーを押すと呼び出し音が鳴らなくなります。

通話のパーク

コール パークを使用すると、システム内の全員が通話を取得可能な、指定されたパーキング スポットに通話を保留できます。通話をパークするには

- [パーク] ソフトキーを押します。

Cisco CallManager Express システムによって利用可能なコール パーク スロットが自動的に選択され、Cisco IP Phone の画面に番号が表示されます。

特定のコール パーク スロットに通話をパークするには

- 転送ボタンを押した後に、ご使用のシステムの管理者によって提供されたコール パーク スロットの番号を押します。パークされた通話を取得するには、次のいずれかの方法に従います。
- 電話機でコール パーク通知を受信した場合、[ピック] ソフトキーを押した後に、アスタリスク (*) を押す。

- [ピック] ソフトキーを押した後に、コールパーク スロットの番号を押す。



(注) コールパーク スロットの番号については、ご使用のシステムの管理者にお問い合わせください。

コール ブロッキング (トール バー) オーバーライド

コール ブロッキングは、電話機の不正使用を防止する機能です。この機能は、指定された時刻、曜日、または日付において、指定された番号パターンを照合することによって実装されます。コール ブロッキング オーバーライド機能を使用すると、個々の電話機ユーザは、定義されているコール ブロッキングを無効にすることができます。

コール ブロッキングが有効になっている場合に電話をかけるには、次の手順に従います。

1. Cisco IP Phone で [ログイン] ソフトキーを押します。
2. 電話機に関連付けられている PIN を入力します。



(注) Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) については、ご使用のシステムの管理者にお問い合わせください。

通話の転送

選択した通話を別の番号に転送するには、次のいずれかの方法に従います。

- ブラインド転送：転送受信者（通話の転送先となる人）と会話することなく即座に通話をリダイレクトします。
- 打診転送：最初に転送受信者と会話した後に通話をリダイレクトします。

通話を転送するには、次の手順に従います。

1. 通話中に、[テンソウ] ソフトキーを押します。通話が保留になります。
2. 通話の転送先の番号をダイヤルします。
3. ブラインド転送を実行するには
 - 回線の呼び出し音が聞こえた時点で、受話器を置くか、または、[テンソウ] ソフトキーを押します。

打診転送を実行するには

- 通話が応答されるのを待って、転送受信者と会話します。その後で [テンソウ] ソフトキーを押すか、または、受話器を置きます。
- 転送に失敗した場合は、[フッキ] ソフトキーを押して元の通話に復帰してください。

打診転送をキャンセルするには

- [シュウリョウ] ソフトキーを押します。

元の発信者に再接続するには

- [フッキ] ソフトキーを押します。

すべての通話の自動転送

すべての着信コールを別の番号に自動転送するには、次の手順に従います。

1. [フザイ] ソフトキーを押します。確認のビーブ音が鳴ります。
2. 通話の自動転送先の番号をダイヤルします。対象の番号に通話している場合でも、そこに自動転送するためにはその番号をダイヤルします。ダイヤルする際には、市内局番も含める必要があります。

電話の表示は、通話が自動転送されることを示す内容に更新されます。

3. シャープキー (#) または [シュウリョウ] ソフトキーを押します。



(注) 通話をボイスメールに自動転送するには、ボイスメール番号を手動で入力するか、または [フザイ] ソフトキー、メッセージボタン、[シュウリョウ] ソフトキーの順に押します。

通話を短縮ダイヤル番号に自動転送するには、[フザイ] ソフトキー、短縮ダイヤルボタン、[シュウリョウ] ソフトキーの順に押します。

自動転送をキャンセルするには、次のいずれかの方法に従います。

- 受話器を置く。
- [フザイ] ソフトキーを押す。

通話のピックアップ

保留中の通話、または別の内線番号にかかっている通話をピックアップするには、次の手順に従います。

1. [ピック] ソフトキーを押します。
2. ピックアップする Cisco IP Phone の内線番号をダイヤルします。通話の制御が自分の電話に移行します。

ピックアップグループに属する番号に着信したコールを選択してピックアップするには、次のいずれかの方法に従います。

- [G ピック] ソフトキーを押す。Cisco CallManager Express システム全体で1つのピックアップグループしか定義されていなければ、通話の制御が自分の電話に移行します。
- 呼び出し音が鳴っている電話と自分の電話が同一のピックアップグループに属している場合には、アスタリスク (*) を押して通話の制御を自分の電話に移行する。
- 呼び出し音が鳴っている電話と自分の電話がそれぞれ異なるピックアップグループに属している場合には、呼び出し音が鳴っている電話のピックアップグループ番号をダイヤルして通話の制御を自分の電話に移行する。

電話会議の使用

3方向の電話会議を行うには、次の手順に従います。

1. 通話中に、[ツギへ] ソフトキーを押し、[カイギ] ソフトキーを押して新しい回線を開始し、最初の通話相手を保留にします。
2. 別の番号に電話をかけます。
3. 接続したら、再度 [カイギ] ソフトキーを押して新しい通話相手を電話会議に加えます。

Cisco IP Phone で、2番目の通話相手と3番目の通話相手（一方がアクティブ状態で、もう一方が保留状態）の間で電話会議を行うには

- Cisco IP Phone で [カイギ] ソフトキーを押します。

Cisco IP Phone にすでに存在し、それぞれ別の回線ボタンを使用している2番目の通話相手と3番目の通話相手（一方がアクティブ状態で、もう一方が保留状態）の間で電話会議を行うには、次の手順に従います。

1. Cisco IP Phone で [カイギ] ソフトキーを押します。
2. 3方向の電話会議に追加する通話の回線ボタンを押します。

電話会議の終了

- 電話会議を終了するには、受話器を置くか、または [シュウリョウ] ソフトキーを押します。



(注) 電話会議の開始者が接続解除すると、電話会議は終了します。

電話会議を終了するためのその他の方法

電話会議の開始者は、次のいずれかの方法を使用できます（機能はシステム設定によって異なります）。

- 電話会議を終了するが最新の通話への接続を保持するには、[カイギ] ソフトキーを押します。古い通話が保留になります。
- 電話会議から接続解除するには、受話器を置きます。その他の通話相手は電話会議に接続したままになります。

ローカル ディレクトリからの電話の発信

システム管理者によって設定されたローカル ディレクトリにアクセスするには、次の手順に従います。

- ディレクトリ ボタンを押します。
- ナビゲーション ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押すか、または **4** を押して、[ローカル ディレクトリ] を選択します。
- ナビゲーション ボタンの **Up** または **Down** ボタンを押して、[セイ]、[メイ]、または [デンワバンゴウ] の各フィールド検索オプションのいずれかを選択します。
- キーパッドを使用して、姓または名を入力します。
文字を入力するには、目的の文字が割り当てられている番号キーを選択し、その文字の位置に対応する回数分、選択した番号キーを押します。たとえば、**B** を入力するには **2** キーを **2** 回、**C** を入力するには **2** キーを **3** 回押します。入力し直す場合は、バックスペース (<<) ソフトキーを使用します。
- [ケンサク] ソフトキーを押して、入力値に対応する番号を検索します。
- 複数の検索結果が表示された場合は、ナビゲーション ボタンの **Up** または **Down** ボタンを使用して、目的の番号を選択します。
- [ダイヤル] ソフトキーを押して、選択した番号をダイヤルします。

個人用短縮ダイヤル ボタンのプログラム

管理者によって Cisco IP Phone の短縮ダイヤルのインスタンスが定義されている場合、ロックされていない番号を再プログラムしたり、ダイヤル文字列が含まれていないインスタンスに対して番号をプログラムしたりすることができます。これらの処理を行うには、次の手順に従います。

- 受話器を取り上げるか、[ハッシン] ソフトキーを押すか、または、回線ボタンを押して、利用可能な電話回線を選択します。ダイヤルトーンが聞こえることを確認してください。
- シャープ キー (#) を押します。
- プログラムの対象となる 短縮ダイヤル ボタンを押します。このボタンに対するプログラムの開始の確認として、短いビープ音が鳴ります。
- 短縮ダイヤル番号を入力します。電話番号が画面に表示されます。Cisco IP Phone 7960G で短縮ダイヤル番号を入力し直す場合は、バックスペース (<<) ソフトキーを使用して、誤入力した数字を消去します。
短縮ダイヤル番号を修正ではなく削除するには、シャープ キー (#) を押します。
- 再度、同じ 短縮ダイヤル ボタンを押すことにより、短縮ダイヤル番号の入力を終了して、新しい短縮ダイヤル番号を登録します。

6. 受話器を置きます。または、別の短縮ダイヤルのプログラムを続ける場合は、対象の短縮ダイヤル ボタンを押してこの手順を繰り返します。

システムの短縮ダイヤル ディレクトリからの電話の発信

システムの短縮ダイヤル ディレクトリから電話をかけるには、次の手順に従います。

1. 利用可能な IP 電話回線（オフフックまたは [ハッシン]）を選択し、ダイヤル トーンを確認します。
2. ディレクトリ ボタンを押すか、または、ナビゲーション ボタンで [ディレクトリ] を指定して [センタク] ソフトキーを押します。
3. ナビゲーション ボタンを使用して、オプションをスクロールします。[センタク] ソフトキーを使用して、短縮ダイヤルのオプションを選択します。
 - [ローカルタンシユクダイヤル] を選択する場合は、**5**を押します。
 - Personal Speed Dial を選択する場合は、**6**を押します（機能はシステム設定によって異なります）。
4. ナビゲーション ボタンを使用して、短縮ダイヤル電話のリストをスクロールします。
5. 選択した電話番号をダイヤルするには、[センタク] ソフトキーを押すか、または、キーパッドでその電話番号を入力します。
6. [シュウリョウ] ソフトキーを押して、前のディレクトリ メニューに戻ります。

通話履歴の表示

不在着信、着信履歴、または発信履歴を表示するには、次の手順に従います。

1. ディレクトリ ボタンを押します。
2. ナビゲーション ボタンを使用して、通話のリストをスクロールして目的の通話を選択します。[センタク] ソフトキーを押すか、または次の操作を行います。
 - [フザイリレキ] を選択するには、キーパッドの **1**を押します。
 - [チャクシンリレキ] を選択するには、キーパッドの **2**を押します。
 - [ハッシンリレキ] を選択するには、キーパッドの **3**を押します。
3. [シュウリョウ] ソフトキーを押して、前のディレクトリ メニューに戻ります。

通話履歴からの電話の発信

通話履歴のリストにある番号に電話をかけるには、次の手順に従います。

1. ナビゲーション ボタンを使用して、通話履歴のリストをスクロールします。
2. [センタク] ソフトキーを使用して、電話番号を選択します。電話番号が画面に表示されます。
3. 画面に表示されている番号をダイヤルするには
 - [ダイヤル] ソフトキーを押します。

画面に表示されている番号を編集してからダイヤルするには、次の手順に従います。

- a. [ヘンシュウ] ソフトキーを押して、画面に表示されている番号の先頭にカーソルを位置付けます。
- b. キーパッドを使用して数字を編集します。誤入力した数字を消去するには、バックスペース (<<) ソフトキーを使用します。
- c. [ダイヤル] ソフトキーを押して、電話をかけます。

通話履歴の消去

ディレクトリの履歴にある電話番号をすべて消去するには

- [クリア] ソフトキーを押します。



(注) [クリア] ソフトキーを押すと、通話履歴のリストがすべて消去されます。通話履歴のリストから特定の番号を選択して消去することはできません。

音声ページングの使用

音声ページングでは、ページングを受信するための 1 方向の音声パスが利用できます。インターコム機能のようなボタンを押して応答するというオプションはありません。

グループに対するページング機能を使用するには、次の手順に従います。

1. 受話器を取り上げて、利用可能な電話回線を選択します。ダイヤル トーンが聞こえることを確認してください。
2. 指定されたページング グループ番号をダイヤルします。
ページング グループ番号が設定されている各 IP Phone は、アイドル状態であれば、スピーカフォン モードで自動的に応答し、発信者 ID を表示します。
3. 発信者がメッセージを伝えて電話を切ると、各 IP Phone はアイドル状態に戻ります。

インターコム機能の使用

Cisco CallManager Express は、互いに短縮ダイヤルが可能な 2 つの電話に設置されている専用インターコムを使用して、1 方向およびボタンを押して応答するという音声接続のインターコム機能をサポートしています。

インターコム機能を使用するには、次の手順に従います。

1. メニュー ボタンを押します。
2. ナビゲーション ボタンを押して [ディレクトリ] を選択します。
3. ナビゲーション ボタンを押して [タンシユクダイヤル] を選択します。
4. インターコムの [タンシユクダイヤル] を選択します。
呼び出された IP Phone は、消音状態のままスピーカフォン モードで自動的に応答します。受信者に着信コールを知らせるビープ音が鳴ります。

インターコムの電話に応答するには

- ミュート ボタンを押すか、または、受話器を取り上げます。

Do Not Disturb (DND; 着信拒否) の有効化

可聴呼び出し音の代わりに可視通話のアラートおよび情報を利用するには、DND を使用します。通話は、通常の call-forward-busy および call-forward-no-answer で処理されます。

DND 機能を有効にするには、次の手順に従います。

1. [ツギへ] ソフトキーを押して、[サイレント] ソフトキーを探します。
2. [サイレント] ソフトキーを押します。電話が DND モードになったことを示すテキスト メッセージが表示されます。



(注) [サイレント] ソフトキーを押すと、通話は電話機に設定されている通話転送先に即座に転送されます。通話転送先が設定されていない場合、[サイレント] ソフトキーを押すと呼び出し音が鳴らなくなります。

DND 機能を無効にするには、ステップ 1 と 2 を繰り返します。

7 IP Phone 型番別の Cisco CallManager Express 3.2 機能

表 1 は、型番別の Cisco CallManager Express 3.2 機能を示すクイック リファレンス テーブルです。それぞれ対応するページに直接移動することができます。

表 1 IP Phone 型番別の Cisco CallManager Express 3.2 機能

項	7902	7905/7912	7910	7914	7935/7936	7940/7960
Do Not Disturb (DND; 着信拒否) の有効化	—	16	—	—	—	43
個人用電話帳へのエントリの追加	—	—	—	—	32	—
受話器の音量の調節	—	—	20	—	—	—
表示のコントラストの調節	—	10	21	25	29	38
呼び出し音の音量の調節	3	10	20	—	—	37
スピーカの音量の調節	—	—	20	—	—	—
現在の通話音量の調節	3	10	20	—	29	37
通話への応答	2	8	18	—	28	35
コールブロッキング (トールバー) オーバーライド	—	11	—	—	—	39
通話履歴の消去	—	15	—	—	—	42
着信コールの転送	—	11	—	—	—	38
個人用電話帳のエントリの編集	—	—	—	—	32	—
通話の終了	2	8	18	—	28	36
電話会議の終了	4	13	22	—	31	41
すべての通話の自動転送	4	12	21	—	—	39
通話の保留	2	9	19	—	29	36
コール ウェイティングの管理	3	9	19	—	—	37
通話のミュート (消音)	—	9	19	—	29	36
通話のパーク	—	11	—	—	—	38
基本的な通話機能の実行	—	—	—	24	—	—
通話のピックアップ	—	12	—	—	—	40
電話の発信	2	8	18	—	28	35
通話履歴からの電話の発信	—	15	—	—	—	42
ローカルディレクトリからの電話の発信	—	13	—	—	31	41
システムの短縮ダイヤルディレクトリからの電話の発信	—	14	—	—	—	42
電話会議の使用	4	13	22	—	30	40
個人用短縮ダイヤル ボタンのプログラム	—	13	—	25	—	41
番号のリダイヤル	2	8	19	—	28	36
ボイスメール メッセージの取得	3	9	19	—	—	37
呼び出し音の種類を選択	—	10	20	—	—	37
通話の転送	3	12	21	25	30	39
音声ページングの使用	5	16	23	—	31	43
インターコム機能の使用	—	—	—	—	—	43
個人用電話帳の表示	—	—	—	—	31	—
通話履歴の表示	—	15	—	—	—	42